

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.38

2019年9月発行

地域の災害の備えは、顔の見えるご近所付き合い! 中村東町地区の住民がつながり、支えあいの意識を高めています。

新たに中村東町地区に移り住まれるようになった方の紹介も行われ、あたたかな歓迎ムードに包まれていました。



今回の「地域のいきいき活動」は、中村東町1・2・3丁目地区の3地区が合同で実施した「秋の月見会」の様子をご紹介します。
このような交流会は、「春の花見会」と今回の企画である「秋の月見会」の年間2回開催されており、日頃からのご近所付き合いの向上はもちろんのこと、大規模地震等の災害時には、中村東町地区の住民が同じ避難所で過ごすことになることが想定されているため、交流会を通して、住民同士の顔の見える関係性を築き、共同生活を送ることになった際のストレスの軽減を図ることを目的としています。併せて、災害用具の点検や使用方法の確認等も行われているそうで、万が一の事態を地域で乗り越えるための活動となっております。

この交流会は、中村東町地区の住民であれば誰でも参加可能となっており、食べ物や飲み物は各自で持ち寄ることになっています。取材にお伺いした日は、あいにくの雨模様ではありますが、5歳〜8歳の幅広い世代の住民、約30名が集まり、賑やかに交流を楽しんでいました。
参加者の方からは、「こうして近所の人と集まれる機会があって嬉しい。」「仲良くなつたご近所さんと登山の計画を立てようがよ。」「といった声も聞かれており、確かな交流の輪の広がりが感じられ、豊かなご近所付き合いに発展しているようでした。中村東町地区では、このような交流会を通して、地域の絆を深め、災害に負けない地域づくりを努めています。



交流会では、同地区の福祉事業所より、美味しい月見団子も振る舞われました。